

「カリキュラム・マネジメントと 関連付けながら実施する学校評価」 ～教師の指導力向上を目指して～



令和3年8月25日

聖籠町立蓮野こども園 園長 地主 浩美

聖籠町子ども教育課 幼児教育アドバイザー 鈴木 裕子

1 カリキュラム・マネジメントと評価の方針

カリキュラム・マネジメントは、「**全職員協力体制のもと、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図ること**」である。

そして、成果・教育活動・運営方法等について**達成状況を的確に評価し、課題に対して改善策を立て速やかに指導の改善に移すことが大切**である。



指導と評価は一体であり、めざす子どもの姿の実現に向けて**指導力向上**に取り組み、積極的に**評価**を行いながら教育活動の質の向上に努めている。

(1) 聖籠町の幼児教育の現状

新しい子育てシステムへの移行

令和4年度に、現在3～5歳児を受け入れている3つの町立こども園が1つの町立幼稚園に、0～2歳児を受け入れている4つの民間保育園が0～5歳児までを受け入れる認定こども園となる。



町内すべての3～5歳児に対して等しく質の高い教育を継続的に提供できるよう、教師一人一人の**指導力を高める必要**がある。

「聖籠町幼児教育センター」との連携



聖籠町では、令和2年度より文部科学省の「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業」を受け、聖籠町教育委員会内に「**幼児教育センター**」が設置されました。

また、**幼児教育アドバイザー**が配置され、**園と協同して教師の指導力向上に向けた取り組み**を進めています。

(2) 町立こども園教諭の現状

年齢構成のアンバランスへの対応

教師の年齢構成は、40代・50代が少なく、20代・30代という若い年齢層が多い。そのため、**経験豊富なベテラン教師の指導を見て学ぶ機会が少なく、大切にしたい教育観やよりよい指導方法がうまく伝達されない現状がある。**



教育観や指導方法を伝える力、学び合う態度を育成し、**指導力を高め合う集団づくりが必要**である。

(3) 園児・保護者の実態

自分の思いを表現する力の伸長

3歳児3クラス、4歳児2クラス、5歳児2クラスの園児数合計126名である。

子ども・保護者ともにややおとなしい人が多く、言われたことは素直に実行に移すよさがある。反面、自分の思いを伝えたり発言したりする力が弱い。



そこで、「豊かな心をもち、いきいきと遊ぶ子」を教育目標に据え、自分の思いを表現しながらいきいきと遊ぶ子どもの実現に向けて全職員で**協働して指導に取り組む必要**がある。

PDCAサイクルによる継続的な評価・改善

Plan 【目標設定】

教育目標と重点目標、各学年の成果目標・力を入れる教育活動・運営活動と評価規準を**全職員で協議して設定**

Do 【実行】

指導力を向上させる**計画的な実践**

Check 【評価】

日々の検証と定期的な評価による改善策の検討

Action 【改善】

指導の改善

2 Plan【目標設定】の方策

全職員による目標設定と保護者への説明

「自分の思いを表現しながらいきいきと遊ぶ子ども」の姿を実現するために、教育目標・重点目標、成果目標・教育活動・運営活動・評価規準について全職員で協議してグランドデザインを作成する。さらに、重点目標を具現化するための「年間計画」を全職員で検討して作成。



年度初めにグランドデザインを保護者に示し、共通理解を図るとともに、学期ごとに評価結果を保護者に説明し、協力して教育を進める**協働関係を構築する必要**がある。

グランドデザイン

未来を創る子どもの育成 ～親和性・企画力・貢献意欲の向上を目指して～

教育目標・・・豊かな心を持ち、いきいきと遊ぶ子
～保護者と共にある園を目指して～

重点目標

① 思いを伝え合いながら遊ぶ子

成果目標 こんな子どもを目指します

- ・ 3歳児...保育者とかかわりながら必要な言葉を知り、使える子
- ・ 4歳児... 2～3人の遊びの中で場に合った言葉をつかえる子
- ・ 5歳児... 友だちと思いを出し合いながら、折り合いをつけて遊びを進める子

目標値...80%

教育活動 こんな事に力を入れます

<課題活動>

- ・ 時期や育ちに合わせた活動の場を設ける

保護者との連携

- ・ 毎日、家族団らんの時間を持ちましょう！
- ・ 子どもの顔を見て話を聞いてあげましょう！

② 話を聞ける子

成果目標 こんな子どもを目指します

- ・ 3歳児...保育者に体を向けて話を聞く子
- ・ 4歳児...保育者の話を最後まで聞いて行動する子
- ・ 5歳児...保育者の話を聞いて理解し、自ら行動に移す子

目標値...80%

教育活動 こんな事に力を入れます

- ・ みんなで話を聞いて行動する場を設ける
- ・ 絵本の読み聞かせをする時間を設ける

保護者との連携

- ・ 週に3回は絵本の読み聞かせを心がけましょう！
- ・ 名前を読んで褒めてあげましょう！

③ 基本的な生活習慣を身に付ける子

成果目標 こんな子どもを目指します

- ・ 3歳児...身の回りのことを自分でする子
- ・ 4歳児...身に付けたことを丁寧にする子
- ・ 5歳児...時間を意識しながら身に付けたことを丁寧にする子

目標値...80%

教育活動 こんな事に力を入れます

- ・ 個々の把握をしっかりとし、最後まで見届ける
- ・ 園全体で声をかけ続けていく

保護者との連携

- ・ 名札をつけて登園しましょう！
- ・ 朝晩のあいさつは、名前を呼んでみましょう！



5領域(幼稚園教育要領)・・・生きる力の基礎を育てます

《環境》 ☆体を動かして遊ぶ楽しさを感じる	《言語》 ☆いろいろな活動に興味を持って取り組み、言葉で表現する	《表現》 ☆自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする	《人間関係》 ☆ルールとマナーを守り、楽しく生活する	《健康》 健康な心と体 ☆基本的な生活習慣を身に付ける
---------------------------------	--	--	--------------------------------------	--



《家庭・地域とつながる》	《職員研修》	《園・小の連携》
<ul style="list-style-type: none"> ○保育参観・学年及び学級懇談会 ○個人懇談(年2回) ○園からの発信・園便り・クラス便り・園長室便り・成長の記録通信『つくしんぼ』 ○園外散歩・行事・製作等のボランティアの協力 ○閉園事業 ○愛児会活動 ○子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育(早朝・延長・土曜日) ・長期休業預かり 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究保育の実施 ○指導計画・短期計画の検討会 ○日案提示と検討会 ○個別対応による指導 ○語る会 ○教育のポイントの発表と意見交換 ○教育アドバイザー訪問研修 ○園外研修参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業や保育の参観と情報交換 ○出前授業・体験入学の実施 ○園小合同避難訓練の実施(11月) ☆小学校の児童とサクランボ狩り交流会 ☆小学校の運動会、マラソンを見学と応援

(1) 重点目標①について

思いを伝えあいながら遊ぶ子

	成果目標	教育活動	運営活動
3 歳 児	保育者とかかわりながら必要な言葉を知り、使える子 ・おはよう、やって、手伝って、入れて、貸して A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	時間や育ちに合わせた活動の場を設ける 1 学期) 生活に必要な言葉尝试してみる 2 学期) 保護者や友達と一緒に声を出す 3 学期) 誰でも答えられるようなやりとりをする(インタビュー) A 週 2 回以上 B 週 1 回 C しなかった	自己表現年間活動計画表を活用し実践する A 短期ごと B 長期ごと C 学期ごと 個人チェック表で実態把握し、全体で話し合いをもつ A 年 3 回 B 年 2 回 C やらなかった
4 歳 児	2～3人の遊びの中で場にあった言葉を使える子 A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	時間や育ちに合わせた活動の場を設ける 1 学期) 誰でも答えられるようなクイズ 2 学期) みんなの前で、3～4人が同じ質問に一人ずつ答える 3 学期) 簡単な感想をみんなの前で言う A 週 2 回以上 B 週 1 回 C しなかった	公開保育を実施し協議をする A 年 3 回 B 年 2 回 C やらなかった
5 歳 児	友達と思いを出し合いながら、折り合いを付けて遊びを進める子 A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	時間や育ちに合ったやり取りをする場を設ける 1 学期) 2～3人で思いを言ったり聞いたりする 2 学期) 4～5人で思いを言い合いながら折り合いのつけ方を知る 3 学期) チームで話し合い、自分たちで解決し進めていく A 週 2 回以上 B 週 1 回 C しなかった	短期・日案から分かったことを長期指導計画に付け加える A 短期ごと B 長期ごと C 学期ごと

(2) 重点目標②について

話を聞ける子

	成果目標	教育活動	運営活動
3歳児	保育者に体を向けて話を聞く子 A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	みんなで話を聞いて行動する場を設ける (経験させたい活動の中で) A 週2回以上 B 週1回 C しなかった 絵本の読み聞かせをする時間を設ける A 毎日 B 週4回 C 週3回以下	話が聞けるための年間活動計画表を活用し実践する A 短期ごと B 長期ごと C 学期ごと
4歳児	保育者の話を最後まで聞いて行動する子 A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	みんなで話を聞いて行動する場を設ける (経験させたい活動の中で) A 週2回以上 B 週1回 C しなかった 絵本の読み聞かせをする時間を設ける A 毎日 B 週4回 C 週3回以下	個人チェック表で実態把握し、全体で話し合いをもつ A 年3回 B 年2回 C 年1回
5歳児	保育者の話を聞いて理解し、自ら行動に移す子 A 80%以上 B 60%以上 C 60%未満	みんなで話を聞いて行動する場を設ける (経験させたい活動の中で) A 週2回以上 B 週1回 C しなかった 絵本の読み聞かせをする時間を設ける A 毎日 B 週4回 C 週3回以下	園で大事にしていることや意図をおたよりや懇談で家庭に知らせる A 月1回 B 学期に1回 C 学期に1回未満

(3) 重点目標③について

基本的な生活習慣を身に付ける子

	成果目標	教育活動	運営活動
3歳児	身の回りのことを自分でする子（支度） A80%以上 B60%以上 C60%未満		生活習慣年間計画表を活用し実践する A短期ごと B学期に1回 C学期に1回未満
4歳児	身に付けたことを丁寧にする子（支度や片付け） A80%以上 B60%以上 C60%未満	《3学期共通》 個々の把握をしっかりとし、最後まで見届ける 園全体で声を掛け続けていく	個人チェック表で実態を把握し、全体で話し合いをもつ A年3回 B年2回 C年1回 園で大事にしていることや意図を、おたよりや懇談で家庭に知らせる A月1回 B学期に1回 C学期に1回未満
5歳児	時間を意識しながら身に付いたことを丁寧にする子 A80%以上 B60%以上 C60%未満		

重点目標①自己表現年間計画表

(重点目標②③についても作成)

令和3年 蓮野こども園自己表現年間計画表

□ 活動

☞ Tの支え

■ 繋がる姿

	1学期	2学期	3学期
3歳児	<p>3歳児は…一体で動くことも自己表現</p> <ul style="list-style-type: none"> スキンシップ リズム なりきり遊び 変化を楽しめる遊び <p>Tの真似をしてC自身から声が出る姿に繋がる</p>	<p>子どもの遊び(なりきり)</p> <p>言葉+体の動き 動きがあることで表情が良くなる! 例:「ダメダメダメ!」 身近なものだと、子どもがイメージしやすく、なりきりやすい。</p>	<p>他学年の発表会からの動きや言葉の真似遊び ごっこ遊び(例:夏まき果遊びなど)</p> <p>真似しやすい言葉や動きをひろう →Cの楽しさにつながる ①Tが役になってオーバーリアクションが大事! ②CがTの真似をしてなりきる →Tの反応が面白くCの表現に繋がる</p>
4歳児	<p>4歳児は…手を挙げることだけでも自己表現</p> <p>何でも正解クイズ～形、色のものな～んだ?～</p> <p>言ってみようという気持ちが出てC自らが手を挙げる姿に繋がる</p>	<p>子どもの遊び(なりきり)</p> <p>言葉+体の動き 動きがあることで表情が良くなる! 例:「ダメダメダメ!」 身近なものだと、子どもがイメージしやすく、なりきりやすい。</p>	<p>2学期からの紙絵 インタビュー</p> <p>みんなの前でどう思ったか言える姿に繋がる</p> <p>発表会での表現 こま、なわとび</p>
5歳児	<p>5歳児は…遊びから自己表現につながる</p> <p>遊びの振り返り 気の合う2～3人のチーム活動</p> <p>相手の思いを聞き、自分なりの言葉で伝えようとする姿に繋がる</p>	<p>お休みの調べ 給食当番インタビュー お休みの調べ お休みの調べ</p> <p>自分の考えを出したり、友達のを聞いて、自分達で遊びを進めていくように繋がる</p>	<p>6、7人のチーム活動</p> <p>自分の考えを伝えたり、友達の思いを聞いて、折れ合いながら、友達同士で遊びを進める姿に繋がる</p>

自己表現を高める活動

自己表現を高めるための教師の援助

どんな姿に繋がるか

3 Do【実行】の方策

目標達成に向けた指導力向上のための方策

- (1) 全クラスの公開保育と協議会の実施
- (2) 管理職との「短期指導計画検討会」の実施
- (3) 構想力をつける日案「わくわくシート」の作成
- (4) 日案をもとにした研修の実施
 - ① 計画的な研修
 - ② 自主的な研修
- (5) 管理職との「学年ミーティング」の実施
- (6) 朝会での保育のポイント指導の実施

(1) 全クラスの公開保育と協議会の実施

- ビデオを使った公開保育と協議会を行い、子どもの発達から育とうとしている姿、教師の援助や環境構成について振り返り、自己評価を行う。
- グループでの話し合いを通して共通の学びの場とする。

- ◎ 3つの町立子ども園での合同研修会の継続実施
- ◎ 今年度から、町立子ども園と私立保育園の合同研修会も実施



ビデオ研修では、**子どもの姿を多角的に見て気持ちを考えたり、自分の保育の姿を振り返ったりすることができ、大きな収穫がある。**

町立・私立園合同「研究保育協議会」を開催

(1) 協議の視点をもとにビデオ撮りした保育を視聴



ビデオで**全員が同じ場面を共有**することにより、話し合いが深まる。また直接保育を参観しないため、コロナ対策の面でも有効。

町立・私立園合同「研究保育協議会」を開催

(2) 環境構成と教師の援助について協議

《ファシリテーションによるグループごとの話し合い》

《考えやアイデアを全体で共有》



視点に沿って考えを付箋に書き、積極的に話し合うことができた。

町立・私立園合同「研究保育協議会」を開催

(3) 講師の大学教授によるまとめと指導



〈参加者の振り返りシート〉

「遊びは、保育者自身が“こういう経験をさせたい、その経験からこの部分の発達を促したい”という思いが先行するが、今回の教授の話により、日々の振り返りを大切にし、子どもの状況や心をしっかりと把握した上で計画を立てる重要性を改めて学びました。」

(2) 管理職との「短期指導計画検討会」の実施

- 園長・副園長が入り、定期的に学年の「短期指導計画検討会」を行う。
- 前の短期の振り返り(自己評価)と 次の短期の検討を行い、次に育てたいこと、環境構成・援助について共通理解を図る。
- 活動後は振り返りをしっかりと記入し、次の計画を立てる。



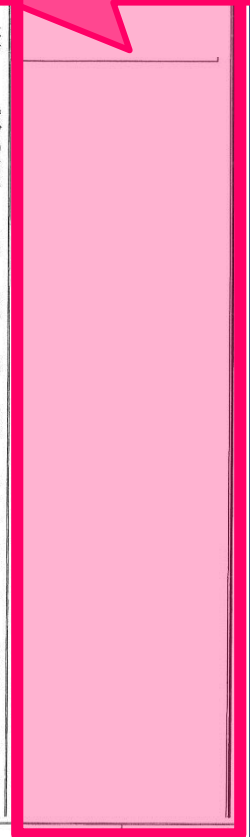
一人では気付かなかったことを共有することで、教師が明確な意図と自信をもって指導する姿につながっている。

管理職と定期的な「短期指導計画検討会」の実施

「短期指導計画」

令和3年度 5歳児 ゆり組 短期指導計画(2-2) [5月31日(月)～6月18日(金)] 蓮野こども園 美本 雄太																																	
<p>長期のねらい ○仲間意識が出てきて、気の合う友達と遊びを楽しんだり、好きな遊びを繰り返して楽しむ。</p> <p>短期のねらい ○気の合うの友達の中で自分の思いを言ったり友達の声を聞いたりしながら自分たちの遊びを楽しむ。</p>	<p>主 歌：あめふりくまのこ・たなはたさま・数字の歌・人間っていいな 製作：父ブレ・魚(折り紙教室) 絵本：泥、水遊びに関する絵本・野菜に関連する絵本・雨に関する絵本 リズム：ドラゴンボール・元気1番体操</p>																																
<p>子どもの姿</p> <p>○全員で予定になっていたことをきっかけに今の時期に最高の砂・水・泥遊びを子ども夢中になって楽しめるようになってきた。しかし、遊びの様子を見ていると同じ場で遊んで楽しんでいるも、まだなかなか同じ思いで遊びを進めていくことが難しかったり、イメージの共有などは難しい。</p> <p>○戸外遊びでは、砂遊びなどに積極的に楽しむ子どもも多く、他の遊びに夢中だった子どもも予定になって楽しめるようになってきた。その中でも、山作りから広がっていきたり、赤土温泉作りなどを楽しんでいるが、人数が多くなってきたといこともあり、思いがバラバラになり自分勝手に進めようとする子(だいと、らいと、ねお、あんな、かえ、りつか)も保育者や友達から言われることもあ</p> <p>○クラスでの相談や遊びの振り返りなどでは、生活に慣れたことでもあり段々と声が出るようになってきた。最初の頃は言う子は決まっていたが、保育者の声から振り返りすると話すことが苦手な子どもも少しずつ話せるようになってきた。(ひまり、みのり、ひかり、あおの)</p> <p>○色んな野菜を触えたことで、生長を楽しみにしている子どもたち。育ててどうするか子どもたちと一緒に考えて目的を持つことで、より生長を楽しみに水くれや早取りを張り切っている。</p> <p>○劇的な活動では、まだまだ個人差がある。苦手意識を持っている子どももいるので、個別に支えていく必要がある。(ひなた、うた、せな、れお、このか)</p>	<p>活動内容</p> <p>たりしながら遊ぶ。 ・砂、水、泥遊び ・色水のジュース屋さん ・大型積み木 ・遊びに必要な物を保育者に伝える 健 2.3 人 1.4,6.～10,12 環 1.2,3,7,8,言 1.2,3,8 表 1,4,7 10の姿(3.4,6,7,8,9)</p> <p>○自分の思いを保育者や友達に伝える ・遊びの振り返り ・係の報告 ・給食当番インタビュー ・生活チーム作り 人 6,7 言 1～6 10の姿(2,4,9)</p> <p>○植物の生長に気付いたり、収穫を楽しんだりしながらお世話をする。 ・じゃがいも ・さつまいも ・じゃがいも ・人参 ・夏野菜 人 6,8,13 環 1.2,3,5 言 1～4, 10の姿(3,5,7)</p> <p>△季節を感じ取れる題材で折り紙や絵を描くことを楽しむ。 ・父ブレ ・魚(折り紙教室) 健 2.5 人 1.6,7 言 1～4, 10の姿(4,6,9)</p>	<p>配 慮</p> <p>○今の時期は暑くなるので、水分補給を促す。 ○遊びの中でも、それぞれの思いはあるのだが、まだまだ共有できない部分も多いので、そのような場面では、保育者も入り込んで思いを聞く場を設けたり、遊びを整理することも大切にしていく。担任が中心となって声を出すのではなく、保育者は子どもに声を掛けながら、フォローしながら子どもに言わせるようにしていく。 ○現在の遊びをもとに、先を見通しながらお店屋のように楽しくに繋げていきたい。その中でも、子どもの楽しんでいることを大切にしながら保育者から無理に進めて持っていくのではなく、楽しんでいくこと、その遊びで大切にしていることを見極めながら声をかけていくようにする。</p> <p>【砂場】(はるむと・けいと・らいと・くうと・ねお、たいと、せな・うた・れお・りつか・ゆいり) ○砂場では、今の時期のように暑いので天気が良い日は裸足になって外に出ることを心がける。砂場では、5歳児だからできる共同性のある遊びを(数人で何かを作る)大切にしながら友達同士で「～しよう!」という気持ちや盛り上げながら色んなことを試したり、比べたり、競い合ったりできるように声をかけたり必要な道具を子どもと一緒に準備する。また、その中でできなかった失敗なども大切にしながら、すぐに保育者が答えを出すのではなく、周りの友達に聞きかたり友達同士で考えさせる機会を作ること大切にしていく。たらい等の使い方も1人で持てないので、そこをきかたり1人でできないだということに気づかせ、友達同士の協力して遊ぶ経験なども大切にしていく。</p> <p>【色水(その時々で変わるが女の子が多い)】 ○色水遊びでは、クラスの中でも話題にし、みんなで不思議さを感じ、ただ作って終わるのではなく子どもたちの声も聞きながらジュース屋さんなどにも繋げていき、年中や年少の子どもたちも招待できるようにしていきたい。また、より本格的な色水ジュースができるようにカップやストロー、石鹸なども用意しておく。 【カレー屋さん(かえ・あんな・ちび・みのり・ひまり)】 ○現在、赤土を使ってカレー屋さんを楽しんでいる子どもたちだが、カレーだけにこだわらず赤土を使って色々なごちそうを作っているよう保育者も様子を見て、他の食べ物などを注文したりしながら、お客さんにならしたりしながら仕掛けていく。また、赤土が固まることにも気づいたので、そこからのクッキー屋さんやハンバーグさんのアイデアも出していく。 【赤土温泉】(ゆき・あおの・あかり・このか・ひかり・ゆなた) ○赤土温泉では、赤土の感触を楽しみながら温泉遊びをしているので、各ポイントで思いを作ったり、子どもたちと相談しながらその場に応じた温泉遊びを楽しめるようにしていく。男湯・女湯を決めたいという声も出てきたので、看板なども準備していく。</p> <p>○遊びの振り返りでは、遊びのメンバーごと今日の楽しかったことをみんなの前で発表する場にする。その中で、ホワイトボードを使い、次はどんな風にしていきたいかを保育者もみんなの前で聞いたり、周りの友達からアドバイスをもらったりしながら目的意識を持つようにしていく。</p> <p>▲生活にも慣れてきて友達関係も固まってきたので、生活チームを作る。5人くらいのチーム構成で、仲良しの友達同士でもなってしまうので、色々な友達に目をつけてかわりをもつきっかけになるように保育者の意図したチームで構成する。日替わりでリーダーを作り、その子がリーダーになってその日は座る。リーダーだからこそできることを通し、自分の活動として促されるようになり、自信をつける活動の一つにしていく。【給食のいただきます、焼りの会の挨拶・おやすみ調べ等】 ▲クラスの課題として、反応が薄いという姿があるので、子どもたちの反応を見ながら声を出させるように声をかけたり、保育者も率先して子どもたちの声に反応しながら気持ちを盛り上げていくことを大切にしていきたい。また、子どもたちの言ったことを子どもも必ず受け止めながら、大げさに認め自信に繋げていく。 ▲前段で話すことが苦手な子に対しては、無理に言わせるのではなく普段の生活の中で簡単な質問をみんなの前でその子にしたり、少しずつでも上手に言えるようになった事を認めていき、言えたという自信にする。(ひまり、みのり、ひかり、あおの)</p> <p>○植物も目的意識を持つことで(じゃがいも・にんじん→カレーパーティー)(夏野菜→焼きそばパーティー)(ポップコーン→映画館)子どもたちも張り切っているので自分で考えて水をあげられる環境を作る。(テラスにたらいとジョロを置く・ひまわりは朝の来た時間を使って)また、生長の変化などは、子どもたちの声から大切に写真を撮ってクラスに掲示したりしながら育てている経過を目で見て分かるようにしていく。</p> <p>△創作活動では、苦手な子に対してその子が自信を持って楽しく取り組めるように朝の時間を使って事前に教えておくことを大切にしている。また、絵を描くことが好きな子が多いクラスなので、絵の中でもその子なりのストーリーなどを大切にしながらみんなの前で発表する機会なども設けていく。 △父の日のプレゼントに関しては、秘密の伝言を通してしっかりお父さんのことをよく見てくることを伝え、一人ひとりが思いを込めて丁寧に顔を描くということを大切にしている。折り紙制作ではまだ始まりなので、個別に教えてから全体にする。</p>																															
<table border="1"> <tr> <th>31日</th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>7日</th> <th>8日</th> <th>9日</th> <th>10日</th> <th>11日</th> <th>14日</th> <th>15日</th> <th>16日</th> <th>17日</th> <th>18日</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td></td> <td>良い歯賞</td> <td>ALT</td> <td>父ブレ伝言</td> <td>父ブレ製作</td> <td></td> <td></td> <td>公開保育</td> <td></td> <td>食育打合せ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>プール開き</td> <td>食育指導</td> <td></td> </tr> </table>	31日	1日	2日	3日	4日	7日	8日	9日	10日	11日	14日	15日	16日	17日	18日	日		良い歯賞	ALT	父ブレ伝言	父ブレ製作			公開保育		食育打合せ				プール開き	食育指導		
31日	1日	2日	3日	4日	7日	8日	9日	10日	11日	14日	15日	16日	17日	18日	日																		
	良い歯賞	ALT	父ブレ伝言	父ブレ製作			公開保育		食育打合せ				プール開き	食育指導																			
<p>【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】へのつながり ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳心・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数や図形、漢字や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現</p>																																	

振り返り欄



管理職と定期的な「短期指導計画検討会」の実施

振り返り欄だけで書ききれないことを周りに記入

令和3年度 5歳児 ゆり組 短期指導計画(2-2) [5月31日(月)~6月18日(金)] 遍野こども園

長期のねらい	短期のねらい	内容	配慮
○仲間意識が出てきて、気の合う友達と遊びを楽しんだり、好きな遊びを繰り返し楽しむ。	○気の合う友達の中で自分の思いを言ったり友達の声を聞きたりしながら自分たちの遊びを楽しむ。	子どもの姿 ○保育者や友達と一緒に遊んで自分の気持ちや思いを声に出したり、2、3人の友達と同じようなイメージをもちたったりする。 ○水、泥遊び ○水のジョウロを置さん ○大根を舐め ○遊びに必要な物を保育者に近寄る ■ 2.3人 14.6.~10.12 課 1.2.3.7.8.書 1.2.3.8 表 14.7 10の歌(3.4.6.7.8.9)	○今の時期、戸外遊びでは、子どもたちが自分で環境を活用することも大切だが、遊び出しの時間を大切にしたいので、はやくおいたり、テントやパラソルを使ってすぐに遊び始める環境を準備しておく。また、遊びの拠点を3つに分けて水を使い自分たちの声とイメージを大切にしたい。 ○準備(給湯機・トイレ・おしぼり・お茶・お水・お弁当・おやつ) 準備は、今の時期の子にも水・泥遊びを経験して欲しいので天気の良い日は遠足になって外に出ることを心がける。砂場では、5歳児だからできる共同性のある遊びを(数人で何かを作る)大切にしながら友達同士で「しよう」という気持ちで遊びながら、互いに支えたり、出たり、集まることもできるように準備をする。また、その中でできないうちで失敗などもあってもいいから、すぐに保育者が手を出さず、周りの友達に聞いていながら友達同士で考えさせる機会を作ること大切にしたい。 ○色水(その時々で変わるがその子が手洗い) ○色水遊びでは、クラスの中で話題にして、みんなで不思議さを感じ、ただでやがるので仲間と子どもたちの声も聞きながらジョウロを置さんにもち取っていき、年中年少の子たちも指導できるようにしていきたい。また、より本格的な色水ジョウロができるよううにカップやストロー、石鹸なども用意しておく。 ○(1人1組)かみ・あんこ・粘土・折り紙 ○現在、粘土を使ってかみ・置さんを玩んでいる子どもたちだが、カラーだけにこだわらず置土を使って色々な色を作っているよう保育者も様子を見て、給の食べ物などを注文したりしながら、お箸さんになったりしながら指がいく。また、粘土が固まるのを待つことも必要なので、そこからの待つ・置さんやハグ置さんのアイデアも出していく。 ○粘土遊び(かみ・置さん・かみ・この・かみ・この) ○粘土遊びでは、粘土の感触を楽しんだり置土を玩んでいるので、各ポイントで思いを語り、子どもたちと相談しながらその前に粘土遊びを楽しくできるようにしていく。男児・女児を決めたいという声も出てくるので、番手等でも準備していく。 ○遊びの中でも、それ以外の思いはあるのだが、まだまだ共有できない部分も多いので、そのような場合は、保育者も入らないうちで思いを語り合ったり、遊びを体験することも大切にしたい。 ○遊びの振り返りでは、遊びのメンバーごとにも今日の楽しかったことをみんなの前で発表できるようにしていきたい。また、振り返りでは、次はどんな楽しかった思い出をみんなの前で発表したい、周りの友達からアドバイスをもらったりしながら自分の思いを振り返るようにしていく。 ○生活にも慣れて友達関係も固まってきたので、生活チームを作る。5人くらいのチーム構成、仲良しの友達とどうしてもつながり、色々な友達と目を向けたりかかわりをもつきっかけになるように保育者の援助したチームで構成する。日替わりでリーダーを作り、その子がリーダーになってその日は、リーダーだからできることを思い、自分の事として伝えられるようになったり目標をクリアする活動の一つにしていく。(給食のいたたまき、飾り物の準備、おやつ準備等) ○クラスの課題として、反応がないということがあるので、子どもたちの反応を見ながら声を出させるように声をかけたり、保育者も率先して子どもたちの反応に反応し始めるようにしていく。また、子どもたちの反応を見ながら声をかけることも大切にしていく。また、子どもたちの反応を見ながら声をかけることも大切にしていく。また、子どもたちの反応を見ながら声をかけることも大切にしていく。 ○A人前で話すことが苦手な子に対しては、無理に言わせるのではなく普段の生活の中で簡単な質問をみんなの前でその子にしたり、少しづつ上手に答えようという話を聞いていく。置たとはいえるようにしていく。 ○目標も目的意識を持つこと(レジャー・ミニカー・パーティー)(夏野菜一輪車(ミニカー)) (ポップコーン一輪車) 子どもたちと取り組んでいる中で得意でできる水遊びをやる。(テラスにたらいとジョウロを置く・ひまわりは期間の準備で準備) また、生活の変化などは、子どもたちから大切に等質を譲ってクラスに掲示したりしながら取り組んでいる経過を自分で分かるようにしていく。 ○製作活動では、苦手な子に対してその子が得意な活動を取り入れるようにする時間を大切に事前に対処しておくことも大切にしていく。また、得意な子が多いクラスなので、絵の中でもその子たちのストーリーなどを大切にしながらみんなの前で発表する機会なども設けていく。 ○父の日のプレゼントに関しては、秘密の伝言を通してしっかりお父さんのことをよく見てくることができ、一人ひとりが思い込め丁寧に絵を描くということも大切にする。折り紙制作はほぼ全員なので、個別に教えてから全体に誘う。
○クラスでの相談や遊びの振り返りなどでは、生活に慣れてきたこともあって、思いが伝わるようになってきた。最初の頃は言う子は決まっていたが、保育者の力から減りつつあると話すことが苦手な子も少しずつ話せるようになってきた。(ひまり、あひろ、ひかり、あゆの)	○自分の思いを保育者や友達に伝える ○遊びの振り返り ○給食当番インク本 ○生活チーム作り 人6.7書 1~6 10の歌(2.4.9)	○自分の思いを保育者や友達に伝える ○遊びの振り返り ○給食当番インク本 ○生活チーム作り 人6.7書 1~6 10の歌(2.4.9)	
○色々な野菜を履いたことで、生活を楽にしている子どもたち、育てどどうするか子どもたちと一緒に考えていくことで、より身近に野菜を愛するようになってきた。 ○制作的な活動では、まだまだ個人差がある。苦手意識を持っている子もいるので、個別に支えていく必要がある。(ひな、あひろ、ひかり、あゆの)	○色々な野菜を履いたことで、生活を楽にしている子どもたち、育てどどうするか子どもたちと一緒に考えていくことで、より身近に野菜を愛するようになってきた。 ○制作的な活動では、まだまだ個人差がある。苦手意識を持っている子もいるので、個別に支えていく必要がある。(ひな、あひろ、ひかり、あゆの)	○色々な野菜を履いたことで、生活を楽にしている子どもたち、育てどどうするか子どもたちと一緒に考えていくことで、より身近に野菜を愛するようになってきた。 ○制作的な活動では、まだまだ個人差がある。苦手意識を持っている子もいるので、個別に支えていく必要がある。(ひな、あひろ、ひかり、あゆの)	

振り返り欄

① 振り返り欄だけで書ききれないことを周りに記入
② 振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
③ 振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
④ 振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入

振り返り

振り返り

振り返り

生活の振り返り
振り返り欄だけで書ききれないことを周りに記入
振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入

振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入
振り返り欄だけでは書ききれないことを周りに記入

(3) 構想力を付ける日案『わくわくシート』の作成

- 教師の「仕掛けの構成力(環境構成)」と「かかわり力(教師の援助)」を高めるために、構想の視点を明確にし、振り返りを重視した日案『わくわくシート』に変更。
- 「予想される姿・ねらい・仕掛け・かかわり」の視点に沿って計画を立て、活動後に振り返りを行い、想定した子どもの姿へつながるものであったか評価する。



わくわくシートは、3つの町立こども園で検討を重ねて作成した形式であり、**全職員が構想の視点に沿ってしっかりと計画を立て、振り返りを大切にする姿勢が身についてきた。**

以前の日案

2/4(木)② 丸

5才発表会 YIーザル 中ボク7
虫のビリビリ、医者、サンタ
がおもしろかった。

<豆まきゴッコ>

YI → 「積み木で迷路を作った!」
↓
↳ 一緒に作る。
↓
① 成るの迷路を渡してOK
↓
鬼にたのて

豆まき楽しんでほしい。

YI、エド、T、Z → 「鬼は外」と豆を投げろ

①が痛かった
①は投げた
反応が
返さなかった
おもしろい。

「YI!」 「落ちる〜」とどき言て
Tはお水にむ。(C)のYI!!

→ お水にむ...
こころに手は...
豆を投げろ

①と仲間になつた
- 一緒にセキつた。

T、C、S 「T、C、Sも鬼になつた!」

① 「おもしろ! 仲間になつた!」

↳ それをまわつておもしろい「おもしろ!」

と YI、エド、T、Z、YI、C、S、Z、Z も鬼を作ら

一緒に渡して、豆を投げた。

2/5(金)② (F)(F)

<鬼の迷路>

昨日のおもしろかったのが、YIが「迷路を作った!」と言

T、C、S、YI、Z、Z、YI、T も一緒にやる

YI - T と手をたいて、Tと一緒にセキつた。

T と Tはお水、エドは「Z!」

おもしろい。

Z、Z → Tに投げた。おもしろい。

S、Z、T、C、S - 友だちにも投げた。

これまでは、それぞれが
ノート等に自分の
書き方で記入

構想力を付ける日案『わくわくシート』の作成

わくわくシート形式 1 (1日の活動を1枚に) 遊びや年齢に応じて形式1・2を選んで使用

6月9日(水) わくわくシート

ねらい 前日の遊びから、ねらいと予想される姿を明確にする

振り返り 4人ブームになって対決したい、ゴールにも顔がほしい、勝ったらメダルがもらえることにしたい

保育者の声掛けから「よーいどん」と友達と声を合わせたり、スクリーンの働き方やちわわ等工夫しながら友達とレースすることを楽しんでほしい。

○ビール屋さん・・・ストローと洗面器2つ出したことと7人が半分に分散し「せーの」と一緒に吹くことが楽しかったり、力いっぱい吹くことで洗面器から溢れそうになる泡の変化が面白かったりする様子が見られた。その後、ストローと手両方で作る姿もあった。友達と一緒に泡を作るのが楽しく終わり頃まで続いた。桜の実を漬けたことがきっかけで最後少し作っていた。

○強く出ている子に従うのではなく自分の気持ちでやりたい所から動かずに遊ぶようになってきているが、まだまだ言いたいことをためらう所もある。

振り返り：桜の実(ポイント)で作りたい、ストローを使って泡をたくさん作りたいの気合う友達と一緒に息を吹いたり「せーの」と声を合わせて泡を作ったり、桜の実を漬けた時のじわ～と出てくる色の変化を楽しんだりして作ってほしい。

○泥団子、BBQ遊び・・・○朝、看板を作ったり、お店には何の良食べ物があるのか整理したりしたことで、外では焼き団子を作る子、肉や野菜を串刺して焼く子に、3人で分かれて遊んでいた。砂や赤土を交互に重ね、団子の上に花を飾って可愛くしたり大きな団子を作ったりする姿もあった。看板を作ったこととお客さん呼びかけの気持ちが強くなっていった。赤土が混ざったことと「これはココアなんだよ」と新しいものが出てきた。

振り返り：ココアの上にホイップクリーム(泡)のせたい、お客さん呼びかけの作った焼き団子に花で飾りつけをして可愛くしたり、泡を作ってココアの上のせたりして作ることを楽しんでほしい。

振り返り

上 が 日
に 指 々
重 導 の
要 力 の 振
の 向 返
の 回

書ぶ声がなく、表現することが少ない。表現の仕方をもっと伝えていく必要がある。まだまだがなくなり、思いがバラバラになりやすいので、その都度声を掛けようというのを繰り返していき

仕掛けとかかわりを具体的に想定

○あさひ、かなた、かなとは周りが見えず友達のしていることに気付けない所があるので、友達が誘いに行くように声を掛けたり、保育者が友達のしていることを知らせたりして個々に配慮していく。

☆ビール・・・洗面器2つ、自分のストロー、せっけんなど

○前日の洗面器にみんなで風を吹くとどうなったか思い出せるように聞いてから外に出ることで友達と声を合わせたり、一緒に吹いてかかわりが持てるようにしていく。

○桜の実は「水の中に入れてゆっくりに漬けてみると、じわ～と出てきて面白いんだよ」と面白いポイントを教えることでただ作るだけではなく色が変わっていく変化も楽しんでいけるようにする。

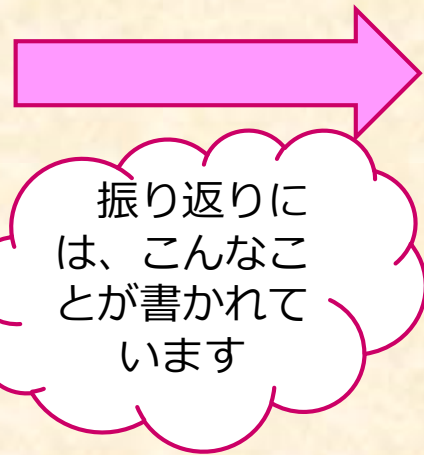
○強く出ている子には、周りの子が不満や思いをためらわずに伝えるように声を掛け、後押ししながら友達の気持ちを聞く場を意図して作っていく。

☆泥団子、BBQ・・・網、ノコギリ、スコップ、洗面器、せっけん、ココアを入れるカップ

○初めてせっけんと洗面器を出すので、みお良いと取り出すことが予想される。「みおちゃんばかりでみんなはいいの?」と友達の思いを引き出し、思いを聞けるように気をつけて見たい。

○何を作りたいのか聞き、簡単に役割を分けることで自分のやりたいことを明確にして遊ぶようにする。

<p>6月9日（水）わくわくシート</p>	<p>振り返り </p>
<p>活動名 海賊船遊び・ビール屋さん・泥団子BBQ</p>	
<p>ねらい 2, 3人の気の合う友達の中で自分の思いを言ったり、友達の声を探したりしながら自分達の遊びを楽しむ。</p>	
<p>○前日の遊びの様子 ◎楽しんでほしい姿(予想) ○海賊船遊び・・・全員が朝の時間、スクリューを作り直したり、割りばしの長さを変えたりして工夫する姿があった。又、個々によって輪ゴムの数を増やす子、減らす子もあり自分なりに考えて作っていた。 ○外では、自分の作った船と友達の船を競うことを楽しむ中で、スクリューをたくさん巻いたり、うちわやストローを使ったりして個々に工夫して楽しんでいた。 ○ゴール地点に着判後になって「○○選手勝ち！」など自分なりに声を出したり、友達と交代したりしていた。しかし、友達の準備ができていないのに勝手に船を進めたり「よーいどん」と言ったりしていた。そこに「待つて」など言う子もいないので担任の声掛けが必要。貯め水の所でレースすることでやっていることが分かり、周りの子も見やすく良い場所だった。 振り返り：4人グループになって対決したい、ゴールにも旗がほしい、勝ったらメダルがもらえることにしたい ◎保育者の声掛けから「よーいどん」と友達と声を合わせたり、スクリューの巻き方やうちわ等工夫しながら友達とレースすることを楽しんでほしい。 ○ビール屋さん・・・ストローと洗面器2つ出したことと7人が半分に分散し「せーの」と一緒に吹くことが楽しかったり、力いっぱい吹くことで洗面器から溢れそうになる水の变化が面白かったりする様子が見られた。その後、ストローと手両方で作る姿もあった。友達と一緒に泡を作るのが楽しく終わり頃まで続いた。水の量を減らしたことがきっかけで最後少し作っていた。 ○強く出ている子に就るのでなく自分の気持ちでやりたい所から動かずに遊ぶようになってきているが、まだまだ言いたいことをためらう所もある。 振り返り：水の量(ワイン)で作りたい、ストローを使って泡をたくさん作りたい ◎気の合う友達と一緒に息を吹いたり「せーの」と声を合わせて泡を作ったり、水の量を減らした時のじわ～と出てくる色の变化を楽しんだりして作ってほしい。 ○泥団子、BBQ遊び・・・◎朝、看板を作ったり、お店には何の食べ物があるのか整理したりしたこと、外では焼き団子を作る子、肉や野菜を巻いて焼く子に2, 3人で分かれて遊んでいた。砂や赤土を交互に重ね、団子の上に花を飾って可愛くしたり大きな団子を作ったりする姿もあった。看板を作ったこととお客さん呼びたい気持ちも強く出ていた。赤土が混ざったことと「これはココアなんだよ」と新しいものも出てきた。 振り返り：ココアの上にホイップクリーム(泥)のほたい、お客さん呼びたい ◎作った焼き団子に石で飾りつけをして可愛くしたり、泡を作ってココアの上ののせたりして作ることを楽しんでほしい。</p>	<p>★色水...程の量は紫色になり、そこに石鹸の泡を入れ、時間が経つと紫色が消えていくことに気づき、声に出す姿があった。目に見えて分かる変化があることで、自然とそこから思いが出やすくなることが分かった。タライではなく洗面器だと自然と同士距離が近くなり友達のやっていることも見えやすい。しかし、2つではなく3つにすると、2～3人に分けられ、より声が出やすくなるのでは？小さい固まりを大切に、明日は3つに覚えてみる。 ★海賊船...周りからも見えやすい貯め水の所でレースしてみたが傾斜があつたスクリューがぶつかり進まなかった。次回は、チャームボールを試してみる。「○○選手待つて！」と自然と友達を呼ぼうとする姿も多く見られ始めてきた。その姿は振り返りでたくさん褒めた。しかしレースに勝つても「よっしゃー！」と喜ぶ声がなく、表現することが少ない。表現の仕方をもっと伝えていく必要がある。まだまだけいなくになると、思いがバラバラになりやすいので、その部屋声を掛けどろしたいのか整理させていく。</p>
<p>☆仕掛け(環境構成)♡かわり(保育者の援助)</p>	
<p>★海賊船・・・ブルーシート2枚、水バケツ2つ、輪ゴム、テープ ◎気付いたことなどさらっと言っている姿がある。その瞬間を見逃さずに、周りの友達にも知らせてあげられるように声を掛けていく。保育者も一緒に参加し喜んで嬉しんだりしながら、時には状況をしったりすることで周りに目を向けられるようにしていく。 ◎「よーい、どん！」など友達と一緒に言うように促したり、勝手に船を進めている子には知らせたりして友達と一緒にする楽しさに繋げていく。 ◎あきひ、かなた、かなとは周りが見えず友達のしていることに気付けない所があるので、友達が黙りに行くように声を掛けたり、保育者が友達のしていることを知らせたりして個々に配慮していく。 ☆ビール・・・洗面器2つ、自分のストロー、せっけんなど ◎前日の洗面器にみんなで風を吹くとどうなったか思い出せるように聞いてから外に出ることと友達と声を合わせたり、一緒に吹いてかわりが持てるようにしていく。 ◎程の量は「水の中に入れてゆっくり滑してみると、じわ～って出てきて面白いんだよ」と面白いポイントを教えることでただ作るだけではなく色が変わっていく変化も楽しんでいけるようにする。 ◎強く出ている子には、周りの子が不満や思いをためらわずに言えるように声を掛け、後押ししながら友達の気持ちを聞く場を意図して作っていく。 ☆泥団子、BBQ・・・網、バケツ、スコップ、洗面器、せっけん、ココアを入れるカップ ◎初めにせっけんを洗面器を出すので、みお良いと取り出すことが予想される。「みおちゃんばかりでみんなはいいの？」と友達の思いを引き出し、思いを聞けるように気をつけて見たい。 ◎何を作りたいのか聞き、簡単に役割を分けることで自分のやりたいことを明確にして遊べるようにする。</p>	



振り返りには、こんなことが書かれています

わくわくシートの「振り返り」（一部抜粋）

姿

桜の実の色水は紫色になり、そこに石鹼の泡を入れ、時間が経つと紫色が消えていくことに気づき、声に出す姿があった。

気づき

目に見えて分かる変化があることで、自然と子どもから思いが出やすくなることが分かった。

気づき

タライではなく、洗面器だと自然と子ども同士の距離が近くなり、友達のやっていることも見えやすい。

次の手立て

しかし、洗面器を2つではなく3つにすると、2～3人に分けられ、より声が出やすくなるのではないか？小さい集団を大切に、明日は3つに変えてみる。

構想力を付ける日案『わくわくシート』の作成

わくわくシート形式2 (数日継続して記入)

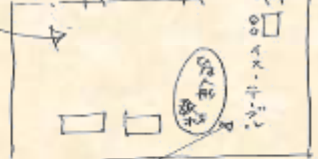
遊びや年齢に応じて
形式1・2を選んで使用

組 『わくわくシート』

2月25日(木) ~ 3月7日(月)

遊びの様子とねらい

<こま・はねとび・フープ>
① 基礎の子から作り組む。
(今日は、ひきまわりの子が多い)
② コマ遊びに慣れてきた。
家庭でもできる要領
③ 自分からせうとすることができた。
大げさな声で、100%の音で
はなつた。
④ (1) (2) コマが出れば... 準備。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) 組むと面白い!! とほめて、
15分PRして10分おやすみさせている。



準備時間、おやすみの
見のこしに合わせる
おやすみに行く時間を
決め、おやすみの
準備を促している。

<ひきまわり> 3/2 準備時間、おやすみにあわせる。
① 準備時間、おやすみにあわせる。
② (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
③ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
④ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。

① (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
② (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
③ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
④ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。

<おはなす> ① (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
② (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
③ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
④ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。

<おはなす> ① (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
② (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
③ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
④ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。

予想される姿と仕掛け・かかわりを具体的に想定

◎予想される姿
・ 1人1人形を動かす。
・ 作り方のコツを伝えている。
・ 1人1人形を動かす。
・ こま・はねとび、フープは自分のやりたいものを自分で
している。
・ 大会をたのびたいし、ほめてくれる。

・ 大会をたのびたいし、ほめてくれる。
・ 大会をたのびたいし、ほめてくれる。

・ 大会をたのびたいし、ほめてくれる。
・ 大会をたのびたいし、ほめてくれる。

振り返り・分かったこと

日々の振り返りが、指導力の向上に重要

・ こま・はねとびは、振り回すのが難しい。
・ こま・はねとびは、振り回すのが難しい。
・ こま・はねとびは、振り回すのが難しい。
・ こま・はねとびは、振り回すのが難しい。

① (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
② (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
③ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
④ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。
⑤ (1) (2) (3) (4) (5) はねとびの準備を促している。

(4) わくわくシートをもとにした研修の実施

① 幼児教育アドバイザーの訪問研修

- 幼児教育アドバイザーが、わくわくシートをもとにタブレットで保育の動画と写真を撮影する(CAVScene)。
- 午睡の時間を活用して、園長・副園長・担任・幼児教育アドバイザーで、動画を見ながら保育の振り返りを行う。
- 幼児教育アドバイザーが、保育の写真とコメントを振り返りとしてA4版数枚のドキュメンテーションにまとめ、園長と担任に送る。



<担任からの声>

「写真やビデオで自分や他の先生の保育を見て、**自分に足りないところに気付くきっかけになりました。**また、分かりやすくまとめていただきありがとうございました。優しい言葉のおかげでまたがんばろうという気持ちになりました。」

ドキュメンテーションによる振り返り①

R3, 5, 18(火)羽田先生・青山先生、参観させていただきました。



子どもたちは、ワクワクしながらお話を聞いています。気持ちがマックスに高まったところで砂場へ出発！心の中に、遊びへの期待とイメージが膨らんでいました。

遊びへの期待を高める言葉掛け

「大きい組さんにもヒミツ！」
「小さい組さんにもヒミツ！」
「真ん中組のヒミツのお砂場に行きたいと思
います」
「スコップもバケツも、真ん中組さんだけが
使えます！」
「お花もたくさんあります」
「お水もたくさんあります」
「真ん中組さんで、今まではお水も使えな
かったから、遊びたいと思います」

子どもに意欲をも
たせ、遊びを深め
る言葉掛けや、子
どもの思いに寄り
添ったかかわりな
どを記録

子どもたちの
活動や学びの
様子を見取っ
て記録



砂の感触を足で、手で、目でしっかりと味わっ
ていました



「色水したい人いますか？」

先生 どうやってやればいいの？



先生と一緒にやろう！

ドキュメンテーションによる振り返り②

自分たちで遊び込める環境設定



オレンジになった！(笑)♡



子どもの遊びをつなげる



カップに入れるとうまく入るなあ



色水作りへの意欲を高める言葉掛けや対応



T「おっ、ゴリゴリいい音がする」
 T「何でこんなきれいな色になったの？」
 T「ゴシゴシしたのね。きれいなのができたね、うわ〜美味しそう！よかったね！」
 C「先生見て、オレンジジュース」
 T「あ、オレンジジュースなの。美味しそう！できたら飲みたいなあ。」
 A「君のもできたら飲みたい」
 C「じゃあ、あそこで待ってれば」
 T「じゃあできたら教えてね」
 C「はいー！」



道路つくったよ、こっちにも道路つなげよう！



ねえ、こっちから、H君こっちから！



先生とのかかわりによる遊びの深まりを記録



「本当だ。Aちゃんが流したらアワアワになったね」



ここから流すんだよ

子どもたちは、既習経験をしっかり生かして、自分たちでどんどん色水づくりを楽しんでいました。花の種類や数を変えながら、道具を上手に使用して、様々な色のジュースづくりに熱中していました。また、先生に褒めてもらうことで、子どもたちにとってジュースが一層素敵なものになりました。「オレンジになった！」と教えてくれた女の子の笑顔も、とっても輝いていました。

初めは少人数での遊びから、川の水を流す遊びに広がっていきました。先生が拠点となり、随所で適切な言葉掛けをすることにより、子どもたちの遊びがうまくつながり、川を渡る子、水を流んできて流す子と自然に役割もできていました。

ドキュメンテーションによる振り返り③

担任とのかかわりだけではなく、いろいろなグループを追うことで、担任が見えていなかった子どもの様子も伝える



「ってきたね。」
 T「いっぱい選んでどうですか？気持ちいい？」
 T「さっきよりどうなったの？」
 C「砂が〜」
 T「冷たい？」



C「どうぞ」
 T「何味のお団子ですか？」
 C「メロン味」
 T「やった〜！いただきます。音くておいしい。おかわりさせてください」



C「ジュースどうぞ」
 T「泡が出る。ゼリゼリジュースだ。すごい！どうやってこんな泡が出たの？ゼリゼリジュースの泡と一緒だ！」
 C「お団子入れたの」
 T「お団子入れたらシュワシュワになったんだね！」

みんな団子屋さんやる？



さんせーい！じゃあ大きくなったらみんな団子屋さんやる？



コピー牛乳つくりたい！

オッケー！



おいしそうにできたね



ここにも入れて！

いいよ



今度こき上げにドーナツつくるぞ



きれいでできたー！

羽田先生・青山先生の明るさ、細やかな配慮で、子どもたちが伸び伸び生き生きと遊んでいました。遊ぶ前に、子どもたちをその気にさせる言葉掛けも巧みで、子どもたちはワクワクしながら遊びに取り掛かっていました。ふらふらしている子もなく、自分のやりたい遊びに没頭する姿は、とても素敵でした。

色水遊びでは、どの子も手順をしっかり理解していて、手際よくじょうごで色水を美めることができて感心しました。子どもたちが仲良く共同で使える道具の出し方など、環境設定もよく考えられているなあと思いました。

羽田先生と青山先生の、子どもたちを包み込む温かさや、子どもたちの思いを引き出す言葉掛け、ユーモアのある返しも素晴らしい。お二人のコントラクションの働きが子どもたちの意欲を大きく育ててくれています。

担任の学級経営や子どもへの向き合い方、手立ての工夫等についてよかった点をまとめ、励みになるようにする



自分の遊びを考えたお団子屋さん
 に寄り添ったお団子屋さん
 りなが先生

(4) 日案をもとにした研修の実施

② 自主的な研修

- 日案を提出したクラスに園長や副園長が出向き、子どもの姿や担任の指導をビデオ撮影する。
- 午睡の時間を活用して、担任と20分程保育活動の振り返りの場を設ける。



担任自身の振り返り(自己評価)を大事にして話し合い、
次の活動に活かせるようになってきた。

(5) 管理職との「学年ミーティング」の実施

- 各学年週1回20分程度、園長・副園長を交えてミーティングを行う。日々の疑問や上手くいかなかった保育について話し合い、改善策を検討する。



若い教師は、**経験者の話を聞くことで、新たな引き出しを増やす**場になっている。

(6) 朝会での保育のポイント指導の実施

- 毎日朝会の10分間を利用し、輪番で保育者がその日のねらいと環境構成や援助について発表し、意見交換と園長・副園長の指導を行う。



他の保育者の思いや園長・副園長の指導を聞くことで、**手立ての工夫や新たな気づき**を得ている。

4 Check【評価】の方策

計画的な評価

- (1) 園内評価と保護者への説明（年3回）
- (2) 保護者アンケートと結果の説明（年2回）
- (3) 重点目標の年間計画についての評価（年3回）

日常の評価

- ◎ 日々の実践の中で自己評価（振り返り）と他者評価（管理職や同僚からの指導・助言）を重視する。

(1) 園内評価と保護者への説明（年3回）

- 3つの重点目標に対する「成果目標・教育活動・運営活動」の進捗状況について、各学年で数値化と考察を行い、目標を達成するために園として今後がんばっていくべきこと・保護者にがんばってもらうことを職員全体で話し合う。
- **年3回、学期末のクラス懇談会で保護者に説明と話し合いの場**を設け、取り組みへの理解と協力を得る。



「子どもの成長の姿」「教師が大切にしてきたこと」「今後園と家庭でがんばっていくこと」を具体的に説明することで、保護者の理解を得ている。

園内評価

重点目標①思いを伝えあいながら遊ぶ子

保護者に配布

成果目標評価				教育活動評価		運営活動評価										
3歳児	○保育者とかかわりながら必要な言葉を知り、使える子 <table border="1"> <tr><td>組</td><td>93%</td><td>A</td></tr> <tr><td>組</td><td>81%</td><td>A</td></tr> <tr><td>組</td><td>86%</td><td>A</td></tr> </table> ※「入れて」「お邪魔します」「〇〇して」で評価した。 A:80% B:60%以上 C:60%未満	組	93%	A	組	81%	A	組	86%	A	1	9%	C	○時期や育ちに合わせた活動の場を設ける ・1学期)生活に必要な言葉を使う 2学期)保育者や友だちと一緒に声を出す ・3学期)誰でも答えられるようなやりとりをする(インタビュー) A:週2回以上B:週1回C:しなかった	1	A
	組	93%	A													
	組	81%	A													
組	86%	A														
	2	64%	B	2	A											
	3	87%	A	3	A											
4歳児	○思ったことを自分なりに言葉で表現する子 (2~3人の中で相手を意識した言葉で思ったことを表現できていたか) <table border="1"> <tr><td>組</td><td>91%</td><td>A</td></tr> <tr><td>組</td><td>86%</td><td>A</td></tr> </table> A:80% B:60%以上 C:60%未満	組	91%	A	組	86%	A	1	62%	B	○時期や育ちに合わせた活動の場を設ける ・1学期)誰でも答えられるようなクイズ ・2学期)みんなの前で、3~4人が同じ質問に一人ずつ答える ・3学期)どう思ったか(感想)をみんなの前で言う A:週2回以上B:週1回C:しなかった	1	B			
	組	91%	A													
	組	86%	A													
	2	45%	C	2	A											
	3	89%	A	3	A											
5歳児	○友達と思いを出し合いながら、折り合いをつけて遊びを進める子 <table border="1"> <tr><td>組</td><td>75%</td><td>B</td></tr> <tr><td>組</td><td>85%</td><td>B</td></tr> </table> A:80% B:60%以上 C:60%未満	組	75%	B	組	85%	B	1	41%	C	○時期や育ちに合ったやりとりする場を設ける ・1学期)2~3人で思いを言ったり聞いたりする。 ・2学期)4~5人で思いを言い合いながら、折り合いのつけ方を知る。 ・3学期)チームで話し合い、自分たちで解決し進めていく。 A:週2回以上B:週1回C:しなかった	1	B			
	組	75%	B													
	組	85%	B													
	2	71%	B	2	A											
	3	80%	A	3	A											

○自己表現年間活動計画表を活用し実践、検証する。
 A:短期ごとB:長期ごとC:学期ごと
 評価...3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A

○個人チェック表で実態把握し、全体で話し合いをもつ
 A:年3回B:年2回C:やらなかった
 評価...3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A

○公開保育を実施し協議をする。
 A:年3回 B:年2回 C:やらなかった
 評価...3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A

○年間活動計画と長期指導計画の見直しをする。
 A:短期ごとB:長期ごとC:学期ごと
 評価...3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A

園内評価

重点目標①思いを伝えあいながら遊ぶ子

保護者に配布

		子どもの成長の姿	教師が大事にしてきたこと	今後、園と家庭で頑張っていくこと
自己評価・今後の取組	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人でも「お邪魔します」と他の部屋に入る時に言えるようになった。 困った時「〇〇して」と言えるようになった。 その場に合った言葉が分からない時、保育者が橋渡しをすることで言い方が分かり相手に伝える姿がある。 遊びの中で言い方は分かるが、自分からは言えない時、保育者に気持ちを受け止めてもらったり促してもらったりすることで言う姿につながっている。 クラスの前でも簡単なやり取りができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のクラスで集まる等、「お邪魔します」を言う場面を増やすことは効果的。 一人では言えない子も保育者や友だちと一緒にと言えるので、そのような機会をつくるのが効果的。 その場に合った言葉が分からない時は、すぐに答えを出すのではなく「なんて言うの？」と聞くことは効果的。 自分から言えない時は気持ちを受け止め、言い方を知らせたり促したりすることは効果的。 遊びや生活の中でクラスの前にも出て発言する機会を設けたことは効果的。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年で集まったり遊んだりする機会をたくさんつくることで、他クラスの子にも興味が出るようにし、進級した時に安心して過ごす姿につなげていく。 <p>* 進級に向けて、自信につながるよう誕生月やバスワッペンの色を教えてあげたり、してほしいことを言葉で伝えられるように、先取りせずお子さんの話しを最後まで聞いてあげましょう。</p>
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 発表会のまねっこ遊びではみんなが同じイメージをもてたので友だち同士でやりとりをして遊ぶ姿が出てきた。 当番活動でのインタビューを2学期から継続してきたことで「何が楽しかったか」「どうして楽しかったか」などの感想も言えるようになってきている。 友だちとの関わりが少ない子は自分の好きな遊びをじっくりとすることが多いので保育者が橋渡しをする必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的みんなの前で話す機会を継続して設けたことで、繰り返し自分で言ったり友だちの話を聞いたり話し方を覚えられ、自信につながるのど効果的。 みんなの前で話す際、どう思ったかを自分の言葉で言うためには保育者が質問をしやりとりを楽しむことが効果的。 遊びの中で子どもがしている動きに対し「～しているんだね」と周りの子にも伝わる言葉をかけることはイメージの共有につながった。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当番活動でのインタビューの回数を増やしみんなの前で話す機会を多くもてるようにする。 <p>* 継続して親子で会話をする時に「どんな？」を子どもに質問してみましょう</p>
	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の積み重ねから自然と友達同士で「どうする？」と相談する姿が多く見られるようになった。 様々なチーム活動を積み重ねてきたことで、仲良い関係が崩れたチームでも、自分の思いを言える姿が見られた。 その中でも思いがぶつかり合うこともあった。 自分達で道具を準備しながら、練習に取り組む姿が見られた。中には、目的に向かう意識が薄く、フラフラしてしまう子もいる。 チームの発表を見せ合い、友達からの声を聞くことで頑張ろうとする姿が見られた。 	<p>3学期：発表会 (発表会自分で決めたチームで構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守りながら、状況に応じて保育者も入り、一人一人の思いを聞いたり、色々出た意見を絞って整理する役になったりすることで、折り合いをつけて進めていく姿に繋がった。 ☆自分達で遊びを進めていくために効果的だった支え… ①一連の流れを書いた紙(文字とイラスト)を提示することで、何をやるかが分かり、自分で動いたり友達同士で教え合いながら進める姿に繋がりが効果的。 ②自分達で好きなように動かしたり準備したりできる道具があることで、同じイメージを持って動くことができたり、実際に動きながら遊んだりすることで新しいアイデアが生まれ、自分の思いを出せるきっかけにも繋がりが効果的。 目的に向かう意識が薄い子には、チームの友達から励まされることと同時に、友達に迷惑をかけていることも知らせ、どうすればいいのか考える時間を設けることも必要な手立て。 保育者のアドバイスよりも友達の「こうするととってもいい！」という意見の方が、響きやすく刺激に繋がった。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム全員が意識を向けて相談していくために、顔を見合わせて話し合う場を今後も続けていく。 友達同士で見せ合う場を設け、頑張っている所を褒めたり、認めたりすることで個々の自信に繋げていく。 <p>* 3年間の園生活を振り返って、「こんなところ頑張ったね」、「ここ成長したね」ということを親子で喜び合いましょう。</p>

園内評価

重点目標②話を聞ける子

保護者に配布

成果目標評価				教育活動評価				運営活動評価	
3歳児	○保育者に体を向けて話を聞く子	1	61%	B	①みんなで話を聞いて行動する場を設ける（経験させたい活動の中で） A:週2回以上 B:週1回 C:しなかった ②絵本の読み聞かせをする時間を設ける A:毎日 B:週4回 C:週3回以下	1	B	○話しが聞けるための年間活動計画表を活用し実践、検証する。 A:短期ごと B:長期ごと C:学期ごと 評価 3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A	
		2	61%	B		2	A		
		3	73%	B		3	A		
		A:80% B:60%以上 C:60%未満		1		A			
4歳児	○保育者の話を最後まで聞いて行動する子	1	31%	C	①みんなで話を聞いて行動する場を設ける（経験させたい活動の中で） A:週2回以上 B:週1回 C:しなかった ②絵本の読み聞かせをする時間を設ける A:毎日 B:週4回 C:週3回以下	1	A	○個人チェック表で実態を把握し全体で話し合いをもつ A:年3回 B:年2回 C:年1回 評価 3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A	
		2	52%	C		2	A		
		3	84%	A		3	A		
		A:80% B:60%以上 C:60%未満		1		A			
				2		A			
				3		A			
5歳児	○話を聞いて理解し、自ら行動に移す子（伝言する）	1	48%	C	①みんなで話を聞いて行動する場を設ける（経験させたい活動の中で） A:週2回以上 B:週1回 C:しなかった ②絵本の読み聞かせをする時間を設ける A:毎日 B:週4回 C:週3回以下	1	A	○園で大事にしていることや意図をお便りや懇談で家庭に知らせる A:月1回 B:学期に1回 C:学期に1回未満 評価 3歳児:A 4歳児:A 5歳児:A	
		2	73%	B		2	A		
		3	88%	B		3	A		
		A:80% B:60%以上 C:60%未満		1		B			
				2		A			
				3		A			

園内評価

重点目標②話を聞ける子

保護者に配布

		子どもの成長の姿	教師が大事にしてきたこと	今後、園と家庭で頑張っていくこと
自己評価・今後の取組	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・体を向けて話が聞けるようになってきた。 ・まだ隣の子にちょっかいを出したり、保育者が喋っていることに対して反応したりすることがある。 ・姿勢は保てるようになってきた子と、慣れてきたことで、ふざける姿も出てきた。 	<p>①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しを5分以内に抑えることは効果的。 ・話しを聞く時は保育者の意図した位置にすることは効果的。 ・集会で気持ちがそれやすい子は保育者の近くにする。 <p>②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者が意図した絵本だけでなく、子どもから出た本を読むことで聞く姿につながる。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年で集まった時に、担任以外の保育者の話を聞く機会を作っていく。 ・進級する喜びから、話を聞く気持ちにつながるように「真ん中組さんみたいにカッコよく聞いているね」などの言葉かけを大事にしていく。 *絵本の読み聞かせを週2回以上したり、その日の出来事を聞いたりする時間をつくりましょう。
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が前に来ると静かになる子が多い。友だちに目が向いていることから話が始まることに気付かなかった子も友だちが静かになったことで気付くようになってきた。 ・話の最後まで姿勢の維持をできない子はまだいる。 	<p>①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や聞き方などでできている子を褒めることは周りの子の聞く意識につながり効果的。 ・話の前後で返事をさせることは話を聞こうとする気持ちにつながり効果的。 ・止まってから話す、並ぶ時に止まるなどの声かけを保育者が日々の生活の中で取り入れることは子どもの意識につながり効果的。 <p>②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し長めでも内容やストーリーが分かりやすい絵本を選ぶことで最後まで集中して見る姿につながる。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し難しくても昔話などいろいろな内容の絵本に触れる機会を作る。 ・体感トレーニングやリトミックの他にも生活の中で止まることを意識できる声掛けをいっていく。
	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の積み重ねから保育者が前に立つと、すぐに気づき体育座りの態勢を作る姿が見られる。 ・“1年生になる”という気持ちの表れから椅子に座って話を聞くことは、体をグラつかせずに聞こうとする姿がある。 ・保育者の話を聞いているが動けない子、話を聞いていない子もいる。 	<p>①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期から体育座りで話を聞いたり、体幹トレーニングを取り入れてきたことで、正しい姿勢で椅子に座れることが分かった。 ・椅子に座り、小学校を意識できるような褒め方を意識することが大切。 ・話を聞いているが動けない子、聞いていない子には、個人的に話の内容を伝え話をした後再度確認することで、理解して行動に移せる姿に繋がり、効果的。 <p>②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先の見通しが持てるようになってきたことで、行事を楽しみに待つ姿に繋がっており、興味をもって集中して聞く姿に繋がった。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、小学校に向かって、机と椅子を使って話を聞く経験を取り入れていく。 *残りわずかな園生活での頑張っていることや楽しんでいることをたくさん聞いてあげましょう。

園内評価

保護者に配布

重点目標③基本的な生活習慣を身に付ける子

成果目標評価				教育活動評価	運営活動評価		
3歳児	○身の回りのことが自分でできる子		1	18%	C	≪3学年共通≫ ○個々の把握をしっかりとし、最後まで見届ける ○園全体で声を掛け続けていく。	○生活習慣年間計画表を活用し実践、検証する A:短期ごと B:学期に1回 C:学期に1回未満 評価…3歳児: A 4歳児: A 5歳児: A ○個人チェック表で実態を把握し、全体で話し合いをもつ A:年3回 B:年2回 C:年1回 評価…3歳児: A 4歳児: A 5歳児: A ○園で大事にしていることや意図をおたよりや懇談で家庭に知らせる A:月1回 B:学期に1回 C:学期に1回以下 評価…3歳児: A 4歳児: A 5歳児: A
	組	93% A	2	50%	C		
	組	87% A	3	91%	A		
	組	93% A					
A:80% B:60%以上 C:60%未満							
4歳児	○身に付いたことを丁寧にする子		1	44%	C		
	組	82% A	2	56%	C		
	組	90% A	3	86%	A		
	A:80% B:60%以上 C:60%未満						
5歳児	○忘れ物をしない子(名札、ハンカチ、ティッシュ)		1	68%	B		
	組	85% A	2	78%	B		
	組	90% A	3	88%	A		
	A:80% B:60%以上 C:60%未満						

園内評価

保護者に配布

重点目標③基本的な生活習慣を身に付ける子

		子どもの成長の姿	教師が大事にしてきたこと	今後、園と家庭で頑張っていくこと
自己評価・今後の取組	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の声掛けで支度等、自分でできるようになった。 ・朝の支度で毎日出すものは、出し忘れがなくなってきた。 ・防寒着は自分で着られるようになってきた。 ・週末の持ち帰りの物を月曜日に出し忘れる子が時々いる。 ・他のことが気になり支度に時間がかかる子がいる。 ・まだ上着を着る時に袖を通すまでが難しい子が数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本袋がある日は、鞆掛けより手前に絵本袋のカゴを置いておくことで、出し忘れがなく効果的。 ・保育者と競争することでやる気を促す。 ・支度が終わるとたくさん遊べることを伝える。 ・出来るようになったことを当たり前にせず褒めることでやる気につなげてきた。 ・上着の持ち方と着方を繰り返し伝える。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来るようになったことを当たり前にせず、「〇〇出来るようになったんだね。真ん中組さんみたい！」など進級のへの期待が持てるような言葉かけをする。 *進級に向けて、チェック表（これが出来たら真ん中組）を見て、出来るようになったところは褒めて自信につなげていきましょう。出来ないところは家庭で意識したり、出来るように支えてあげたりしましょう。
	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2学期に繰り返し知らせたことで自分の物は丁寧にすることが当たり前になっている子が多い。一方、共有の物は少しすると雑になってしまう。 ・帰りの支度や布団の片付けなど焦ると雑になることはまだある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・焦ると雑になりがちだったので時間に余裕をもたせることは大切だった。また、「待っているよ」という声掛けは安心できるので効果的だった。 ・できていることも雑になっていることも定期的に声をかけることが必要だった。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さすがもうすぐ大きい組だね！」とできていることを認める声掛けをたくさんし、進級への意欲にもつなげる。 *プラスの言葉をたくさんかけてあげましょう。(例：×それができないと大きい組になれないよ ○そこまでできたの？さすがもうすぐ大きい組だね！)
	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期のクラス懇談で、自分で用意する為のお家での支えに協力してもらったことで「自分で用意してきたよ」と自分から言いに来る姿が見られる。 ・自分で用意することが増えてきたことで、忘れてくる子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その子の自信や周りの子の刺激になるように自分で用意してきた子を全体に紹介することは効果的。 ・忘れてきた子には「明日は忘れないでね」と声を掛け、翌日に確認することを意識し、そこで忘れなかったことを褒め、意識に繋げることが大切。 	<p>(今後：・園*家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全体に紹介していきながら、「小学校でも必要な物だよ」と自分で準備する意識が持てるような言葉を掛けていく。 *自分の物を自分で準備する姿が出てきています。その姿に対して「さすが1年生だね」と小学校を意識した褒め方をしたり、親子で確認したりしてあげましょう。 *名札が真ん中についていたら、左側につけることを引き続き教えてあげましょう。

(2) 保護者アンケートと結果の説明（年2回）

- 保護者の実態と考え方を把握するために、**年2回保護者アンケートを実施し結果を提示**。把握した様子を今後の指導に生かすとともに、必要なことは**家庭に啓発し協力を求める**。
- 保護者にも、自分の取り組みや我が子の成長を振り返る機会にする。



<保護者の声>

- ・ アンケートから、子どもの顔を見て話す、顔を見て名前を呼ぶということの大切さを感じた。
- ・ 家事などで相手ができない時にはタブレットを見せることがあるが、時間が長くならないように気を付けようと思う。



和3年 3月19日

聖籠町立蓮野こども園
園長 地主 浩美

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。園の結果と分析、今後の改善の方向をアンケートと蓮野こども園グランドデザインから振り返ってみましたので、お知らせします。

① 思いを伝え合いながら遊ぶ子

今年度2年次として、自分の思いを出しながら主体的に遊ぶための援助の在り方を研修しています。

各家庭でも

- ・褒める
- ・家族での団らんの時間をもつ

等力を入れていただきました。

教育現場の中にも、クラスの中で発言する場として

- 3歳児・簡単なインタビューに答える場
- 4歳児・定期的にみんなの前で発言する場
- 5歳児・自分の考えたことを言う場

を設けました。その成果として、マスク着用していても自分の思いを伝える姿につながったといえます。

来年度も全員の子が発言する場を多く設けていきたいと考えています。

② 話を聞ける子

絵本の貸出回数を増やしたことで、読んであげようという気持ちになる保護者の方が多くなり嬉しく思います。そんな保護者の方の努力が実を結び、子どもたちも話を集団で聞くことが上手になってきました。

ただ、テレビやゲームの時間が多いことが気になります。親子でも出来る楽しい遊び等の提示を園からしていけたらと思っています。

今後とも、子どもとの会話に耳を傾ける時間を意識していただけると嬉しいです。

アンケートとグランドデザインから重点目標について振り返り、結果の分析と改善の方向を伝える

③ 基本的な生活習慣を身に付ける子



- 名札を付ける
- 自分の鞆は自分で持つ
- 挨拶をする

を園では意識してきました。

家庭でも協力していただいたおかげで、どちらもほぼ100%とっていいくらい子どもも保護者の方も意識の高まりがみられました。

園ではこれ以外にも身の回りのことを一つ一つ丁寧に教えています。身の回りのことを自分で意識し習慣化することは遊びの面での成長にもかかわってきます。これからも小さいことを丁寧に教え、出来たら褒め自信を付け子どもたちの成長を支えることを確認し合いました。

来年度のグランドデザイン等にも反映させていきたいと
思います。ご協力ありがとうございました

保護者アンケート評価

保護者に配布

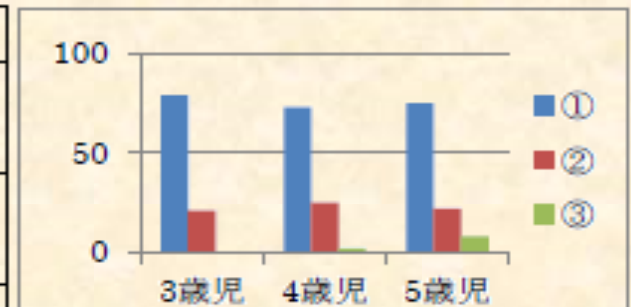


<< 蓮野こども園3月アンケート結果 >>

● 「蓮野こども園 年間活動計画」について

1 各時期にお知らせしている「家庭で協力していただくこと」の欄を見て、家庭で取り組んでいますか？

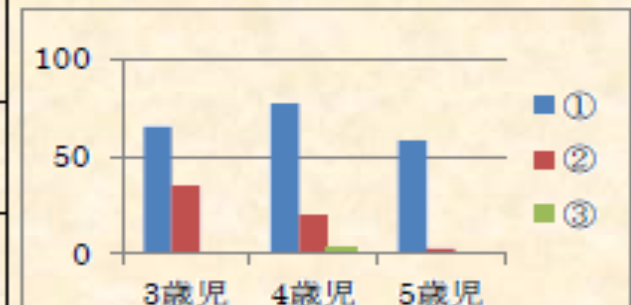
学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 取り組んでいる ほうだ	79% (73%)	73% (76%)	75% (57%)	76% (69%)
② あまり取り組んでいない	21% (25%)	25% (21%)	22% (35%)	22% (27%)
③ 見ていない	0% (2%)	2% (3%)	3% (8%)	2% (4%)



園での取り組みへの理解があるにもかかわらず「家庭で協力していただくこと」は76%どまりとなっています。負担にならずやっつけられる方法を検討中です。

2 園の取組みや様子がわかりやすく伝わっていますか？
(クラス便り・園便り・クラス懇談等)

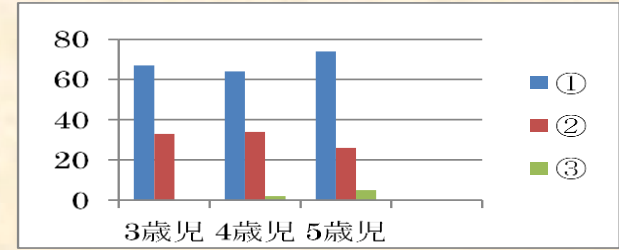
学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 伝わっている	65% (61%)	77% (71%)	58% (49%)	67% (60%)
② だいたい 伝わっている	35% (39%)	20% (29%)	42% (51%)	32% (40%)
③ 伝わらない	0% (0%)	3% (0%)	0% (0%)	1% (0%)



<重点目標①思いを伝え合いながら遊ぶ子>

1 家族で話をする時間（団らん）はありますか？（テレビ等ついていない状態で）

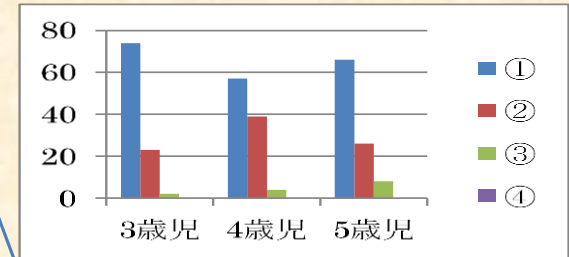
学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 毎日している	67% (66%)	64% (67%)	74% (65%)	68% (66%)
② 時々する	33% (34%)	34% (33%)	26% (30%)	31% (32%)
③ 全くない	0% (0%)	2% (0%)	0% (5%)	1% (2%)



これからも家族でたくさんお話をしていってください！

2 お子さんの名前を入れて褒めていますか？

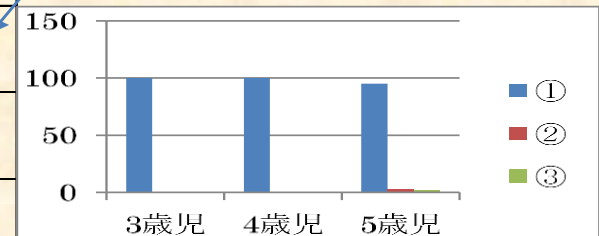
学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① よく褒めている	75% (77%)	57% (76%)	66% (59%)	66% (71%)
② たまに褒める	23% (18%)	39% (24%)	26% (35%)	29% (26%)
③ 名前を入れなくて褒める	2% (5%)	4% (0%)	8% (4%)	5% (3%)
④ あまり褒めない	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)



保護者の方がしっかりと子どもたちに目を向けてくれていて嬉しいです。これからも、一緒に喜び沢山褒めてあげてください。

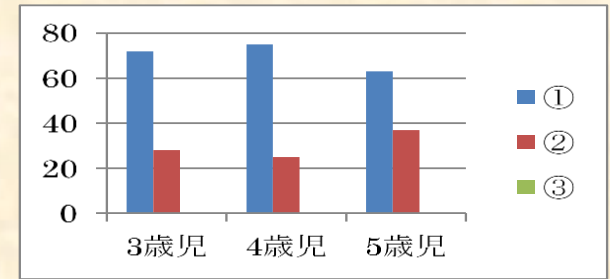
3 お子さんの頑張っていること、出来るようになったことに一緒に喜んであげていますか？

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 一緒に喜んでい	100% (100%)	100% (100%)	95% (100%)	98% (100%)
② 喜んでいない	0% (0%)	0% (0%)	3% (0%)	1% (0%)
③ 何を頑張っているか分からない	0% (0%)	0% (0%)	2% (0%)	1% (0%)



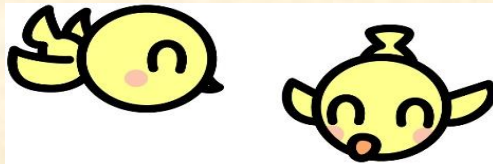
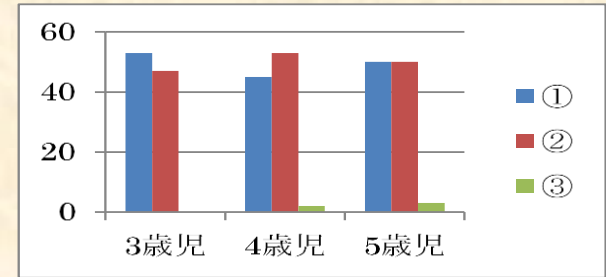
4 お子さんの話を先取りせず最後まで聞くようにしていますか？

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 意識している	72% (68%)	75% (81%)	63% (65%)	70% (71%)
② 時々する	28% (32%)	25% (19%)	37% (35%)	30% (29%)
③ 意識していない	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)



5 お子さんと遊んでいますか？（ゲーム機・テレビ等を除く）

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 毎日	53% (57%)	45% (52%)	50% (32%)	49% (47%)
② 時々	47% (43%)	53% (48%)	50% (65%)	50% (52%)
③ 全くない	0% (0%)	2% (0%)	0% (3%)	1% (1%)

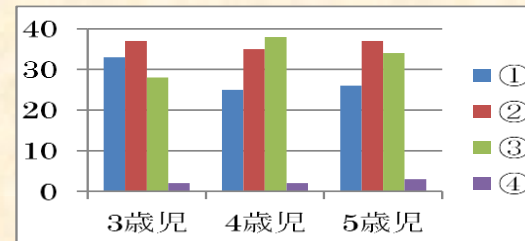


ゲーム以外で、親子で遊ぶ時間を多くとっていただいているととても嬉しく思います。子ども達たちの心に楽しい思い出が残ることでしょう。これからもよろしくお願ひします。

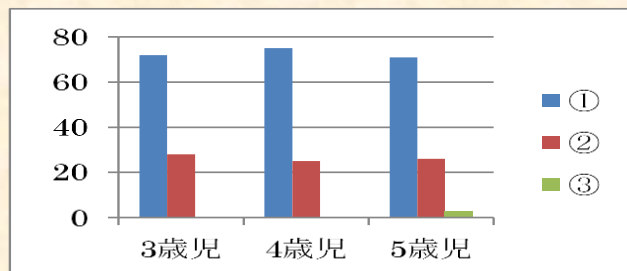
<重点目標②話を聞ける子>

1 絵本の読み聞かせをしていますか？

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 毎日	33% (32%)	25% (32%)	26% (19%)	29% (28%)
② 週2~3回	37% (30%)	35% (38%)	37% (22%)	36% (30%)
③ 園で借りた時	28% (36%)	38% (30%)	34% (54%)	33% (40%)
④ ほとんどない	2% (2%)	2% (0%)	3% (5%)	2% (2%)



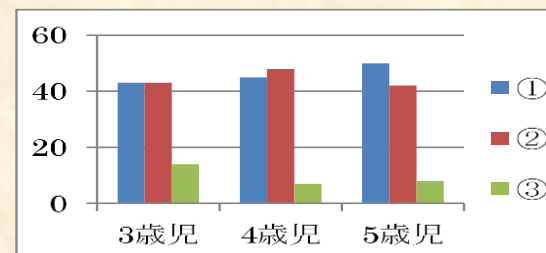
2 子どもの顔を見て話をしていますか？



学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 意識している	72% (77%)	75% (86%)	71% (78%)	73% (80%)
② 時々忘れる	28% (23%)	25% (14%)	26% (19%)	26% (19%)
③ 見ていない	0% (0%)	0% (0%)	3% (3%)	1% (1%)

3 テレビ、ゲームはどれくらい見たり、したりしますか？

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 2時間以上	43% (39%)	45% (38%)	50% (51%)	46% (43%)
② 2時間~ 1時間	43% (48%)	48% (55%)	42% (41%)	44% (48%)
③ 1時間以下	14% (13%)	7% (7%)	8% (8%)	10% (9%)

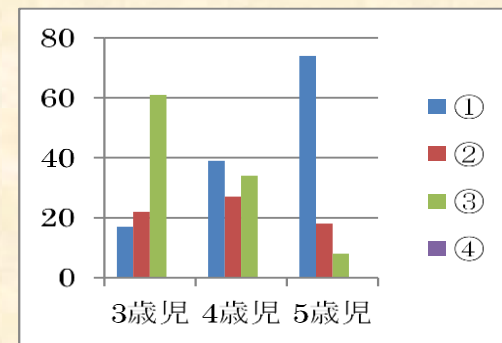


テレビの時間が2時間以上の家庭は、少しテレビの時間を減らし家族で楽しめることを工夫してみてくださいはいかがでしょうか？寝る前に絵本を読むなど習慣化できるといいですね。

<重点目標③基本的な生活習慣を身に付ける子ども>

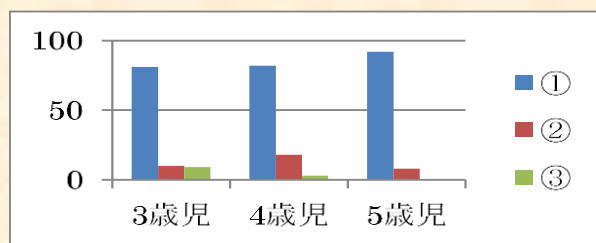
1 園に登園する時は、お子さんは自分から名札を付けていますか？

学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 毎日自分でつけている	17% (11%)	39% (26%)	74% (65%)	44% (34%)
② 声を掛けられて付ける	22% (11%)	27% (31%)	18% (30%)	22% (24%)
③ 付けてあげる	61% (78%)	34% (43%)	8% (5%)	34% (42%)
④ 確認していない	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)	0% (0%)



蓮野こども園の子どもたちと保護者の方は名札を付けることが当たり前になっています。最近では、自信を持って名札賞状を貰いに来る3歳児の姿も毎日のように見られます。5歳児になると自分でつけることが多くなり忘れることも出てくるようです。名札を自分でつけるという行為は、自分のことは自分でやる子につながっていきます。ただし、お子さんに声掛けだけは続けていって下さい。

2 登降園時は、お子さんに自分の物は自分で持つように促していますか？

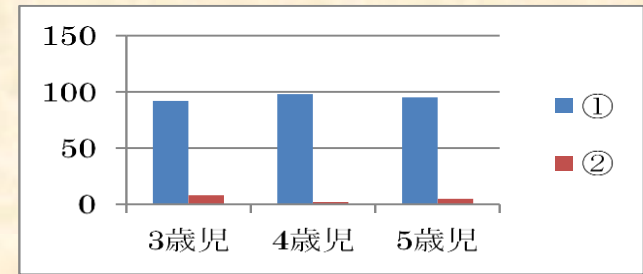


学年	3歳児	4歳児	5歳児	全体
① 持たせるようにしている	81% (48%)	82% (71%)	92% (95%)	85% (71%)
② 時々親が持つ	10% (45%)	18% (26%)	8% (5%)	12% (25%)
③ いつも親が持つ	9% (0%)	0% (3%)	0% (0%)	3% (1%)

これからも、子ども達が自分で出来る工夫をしていきましょう！

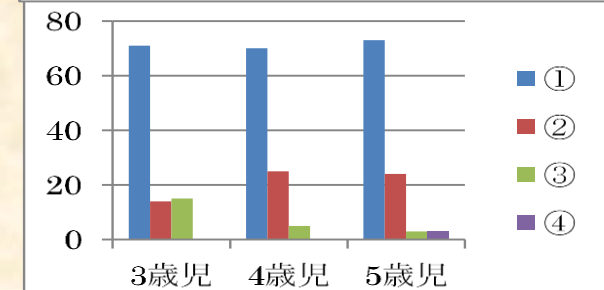
3 自宅で、お便りカバンを置く場所が決まっていますか？

学年	3 歳児	4 歳児	5 歳児	全体
① 決まっています	92% (91%)	98% (93%)	95% (95%)	95% (93%)
② 決まっていない	8% (9%)	2% (7%)	5% (5%)	5% (7%)



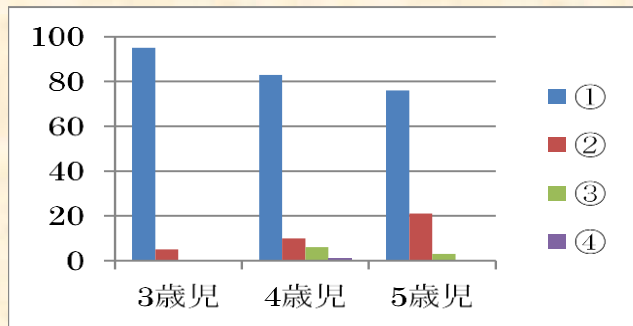
4 名前を呼んであいさつはしていますか？

学年	3 歳児	4 歳児	5 歳児	全体
① する	71% (68%)	70% (67%)	73% (68%)	71% (68%)
② 時々する	14% (23%)	25% (24%)	23% (27%)	21% (25%)
③ 名前は呼んでいない	15% (9%)	5% (9%)	2% (5%)	7% (7%)
④ しない	0% (0%)	0% (0%)	2% (0%)	1% (0%)



3歳児で、我慢させるようになった家庭が多く嬉しく思います。大人の言うことを聞かせることは大変ですが、我慢する力は心の強さにつながります。これからも頑張ってください！

5 我慢が必要な場面では、どう対応していますか？



学年	3 歳児	4 歳児	5 歳児	全体
① 話を聞かせ我慢させている	95% (77%)	83% (90%)	76% (81%)	85% (83%)
② 子どもに負ける事が多い	5% (14%)	10% (7%)	21% (11%)	12% (10%)
③ 叱りつける	0% (4%)	6% (3%)	3% (14%)	3% (6%)
④ 放っておく	0% (5%)	1% (0%)	0% (0%)	0% (1%)

* アンケートを通してお気づきの点等がありましたらお書きください。

Q : 園の便り等で文の言い回しの間違いが目立つ気がします。コロナ対応大変ですが、頑張ってください！

A : チェック体制を整え気を引き締めていきたいと思います。

Q : 本人の言うことなので本当かどうかわからないが、「〇〇って言ったけど、先生何も言わなかった」という時がある。子ども達は担任の先生に言ってもらえた、聞いてもらえたことは非常に格別だと思うので一人でたくさんの子どもを見るのは大変だと思うが親と先生方で一緒に成長を支えていく努力をしていけたらと思っている。

A : 日々、子ども達の声に耳を傾けてる努力をしているつもりですが、まだまだ不足の時もあるようです。職員一人一人自分がどうだったか振り返り反省していきたいと思います。



<悩み>

- 家事などで相手が出来ない時にはタブレットを見せることがある。時間が長くなるように気を付けようと思う。
- 何回も同じことを言っているのに聞いてくれず大声を出すことがある。本人はいつも聞こえていると言っていますが…。
- 出来ること、出来ないことがはっきりしてきました。もう少しで年中組なので、苦手なことは自分でやれる時間を増やしスキルアップさせていこうと思う。
- アンケートから、子どもの顔を見る、顔を見て呼ぶということの大切さを感じた。
- 我慢が必要な場面がよくわからず、対応が出来ていない。人に嫌なことをする、言うならわかるのですが…。

A : 子育ての悩みは尽きませんね！気になった時にすぐ職員に相談していただければと思います。解決できることばかりではありませんが心を軽くし子どもたちに笑顔で接することが出来るようにしましょう！

その他、職員の励みになる感想もいただきました。保護者の皆様が意識して頑張っている姿が嬉しいアンケート結果となりました。これからも、自信を持ち楽しんで子育てしましょう！

<感想>

- 係の仕事とか園での役割を嬉しそうに報告してくれて、話を聞いていると成長を感じる。
- 「自分のことを自分で」が習慣になってお兄さんらしくなった。
- 子どものことについて先生と話す機会があり、すぐに対応し家庭と園で共通して取組むことが出来た。また、子どもの姿を見つめ直すきっかけとなり成長を感じる事が出来、感謝している。
- 発表会の保護者席はとても良い並びだった。感染対策を考えていただき、ありがたかった。
- クラスだより等で子ども達の様子をよく教えていただき、家で子どもの話題につながり有難い。
- コロナで日々大変な中、子どもと真剣に向き合ってください感謝の毎日。たまに嫌なことがあっても、次の日笑顔で園に行けるのは大好きな先生やお友達がいるからです。

(3) 重点目標の年間計画についての評価（年3回）

- 学期末に、3つの重点目標の年間計画について、「活動内容・教師の援助・繋がる姿」の視点に沿って評価をする。教師自身の自己評価から気付いたこと、改善点を付箋に書いて貼り、全職員で話し合っって共通理解し、次の活動に活かす。



この時期に大事だと思われることを共有することで、**全職員が同じ考えで教育活動や指導の改善にあたる**ことができている。

全員による評価

令和3年 蓮野こ... 自己表現年間

1学期

3歳児は... 一体で動くことも自己表

- ・スキンシップ
- ・リズム
- ・なりきり遊び
- ・変化を楽しむ

①の動きに
②が言葉を
つける。

①は②の動きを
するまで、③は
大げさに動かす!

リズムカル
な言葉

Tの真似をしてC自身
から声が出る姿に繋がる

子どもの遊び
(ゆりゆり)

経験したことや見たこと
を選び取り、C
自身の動き
に繋がる

4歳児は... 手を挙げることだけでも自己表現

3歳児で
経験したこと
取り入れる

解クイズ〜形、色のものは〜なんだ?〜

みんなの前で自
信をもって言え
る・自分の言葉を
楽しみに待つ姿
に繋がる

5歳児は... 遊びから自己表現に繋がる

何でも正解クイズ

インタビュー

相手の思いを聞き、
自分4人の言葉で伝
えようとする姿に繋
がる

自分の考えを出した
り、友達や先生
の考えを聞いて、自分
で考えていこうとす
る姿に繋がる



重点目標の達成に向けて全員で話し合い、良
さや改善策を共有する。

良さや改善策を付箋
に書き貼っていく

5 Action【改善】の方策

- (1) 評価の結果から把握された課題については、検討した**改善策に基づいて速やかに対応**する。
- (2) **進歩や成果がみられたことは、積極的に認め**自信をもって活動や指導を継続できるようにする。
- (3) 全職員で常に**進捗状況を共通理解し、協働**して指導にあたる。

6 成果と課題

成果

- 自分の保育の**評価(振り返り)**をしっかりとやることで、**子どもの成長に合った支えを意図をもってできる**ようになってきた。
- **指導と評価を関連付けた取り組み**を意図的・計画的に行うことで、**一人一人の指導力向上**につながり、ひいては**園全体の教育力が向上**してきている。

課題

- **自己評価(振り返り)**が**表面的**になることがある。自分の援助が子どもの心に寄り添うものであったか、改善点は何かなど、**次に活かせるような評価の仕方を身に付けさせる**必要がある。

7 最後に

- 一人一人の教師の、自分の**指導力向上のために**
日案をしっかりと立て、日々の振り返りと教師同士の
会話を大切にしていく姿勢を大事にする。
- 今年度後半も、子ども・教師・保護者の**がんばりや**
成果を認め、みんなが笑顔で生き生きと自信をもって
過ごせるような園運営に努めていきたい。





ご清聴ありがとうございました